

## ベビーカーマーク認知度調査の結果について（概要）

平成 27 年 3 月に閣議決定された「少子化社会対策大綱」における新たな施策の一つとして、ベビーカーマークの普及啓発が盛り込まれたところ。また、同大綱では施策に関する数値目標も定められ、2020 年までのベビーカーマーク認知度の目標値が 50%とされた。

### 少子化社会対策大綱（平成27年3月20日 閣議決定） 抄

#### IV きめ細かな少子化対策の推進

#### （2）社会全体で行動し、少子化対策を推進する。

（結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会づくり）

安心して妊娠・出産、子育てをする上で、妊娠中の方や子供連れで外出する際に生じる様々な支障を取り除き、外出しやすい環境を整備することが重要である。こうした環境整備は、若い世代が妊娠・出産、子育てに対して前向きに考えることにもつながる。

マタニティマーク、ベビーカーマークの普及など、妊娠中や子育て時のバリアフリー化を進めるとともに、地域において子供連れにお得なサービスを提供する取組の全国展開などを行う。

#### 施策の具体的内容

○マタニティマーク、ベビーカーマークの普及啓発

- ・公共交通機関等においてベビーカーを適切に利用でき、乳幼児と外出しやすくなるよう、「ベビーカーマーク」の普及を図る。

#### 施策に関する数値目標

ベビーカーマークの認知度 50.0%（2020年）

これを踏まえ、ベビーカーマークの認知度を把握するため、国土交通省インターネットモニターアンケート調査を実施。令和 2 年 7 月調査概要は以下のとおり。

#### ▶活用した調査について

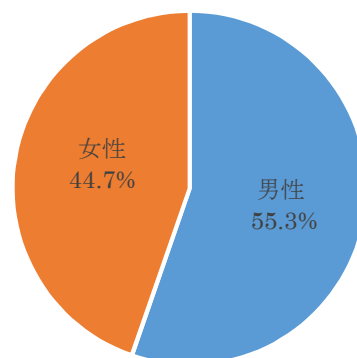
国土交通省インターネットモニターアンケート調査

- ・調査対象：日本国内に居住する 20 歳以上の者 1,000 人程度
- ・調査時期：令和 2 年 7 月 1 日（水）～7 月 21 日（火）
- ・調査方法：インターネットを通じたアンケート調査
- ・有効回収数（回答率）：998 人（回答率 93.4%）

## ▶回答者の属性

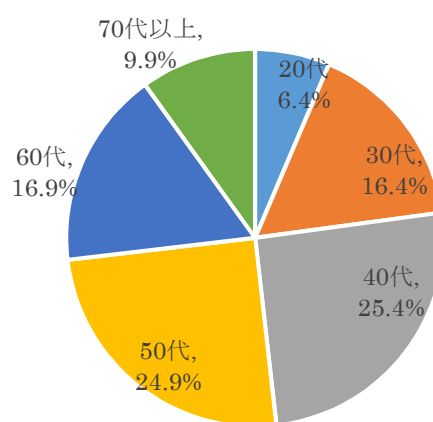
### ① 男女別

性別	回答数 (名)
男性	552
女性	446
合計	998



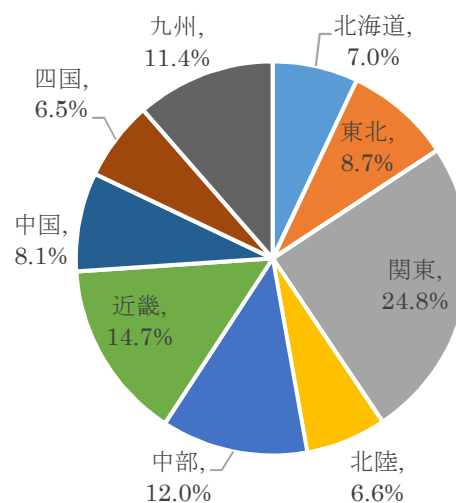
### ② 年代別

年代	回答数 (名)
20代	64
30代	164
40代	253
50代	249
60代	169
70代以上	99
合計	998



### ③ 地域別

地域	回答数 (名)
北海道	70
東北	87
関東	248
北陸	66
中部	120
近畿	147
中国	81
四国	65
九州	114
合計	998



※本調査の地域別のブロック定義は次のとおり。

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県

中部：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問. あなたは、「ベビーカーマーク」を知っていましたか。N=998

	回答数 (名)
見たことがあり、意味まで知っていた	291
見たことはないが、意味は知っていた	193
見たことはあるが、意味は知らなかった	100
見たことはないし、意味も知らなかった	411
無回答	3

